



文化財新聞 (第二弾)

魅力再発見!



発行日 2023年8月1日
発行者 まなひあい中学校
新聞部

大河ドラマ「どうする家康」で、いよいよ小牧・長久手の戦いの放送が迫る中、長久手の歴史や文化財が注目されています。また、現在、市は古戦場公園再整備事業を進めています。文化財新聞と題して、7～9月号までの3か月にわたり、長久手の歴史や文化財、古戦場公園再整備事業について紹介します。

☎生涯学習課
☎56-0627

「秀吉と家康が戦い、歴史が動いた。ここ長久手で！」

長久手で家康が負けていたら、日本の首都は東京ではなかった!?

1584年4月9日に、家康と秀吉の最初で最後の戦いが長久手で繰り広げられました。戦いは、家康が秀吉の有力な武将を討ち取り勝利しました。もし、この戦いで家康が負けていたら、江戸幕府が開かれず、東京が日本の首都になることもなかったかもしれません。この戦いのゆかりの地は、昭和14年に国指定史跡「長久手古戦場」として指定されました(現在は古戦場公園として整備)。国指定史跡となっている戦国時代の古戦場は、全国でも長久手古戦場のほかには、「関ヶ原古戦場」、「桶狭間古戦場伝説地」しかありません。



▲古戦場公園

すべて
国指定史跡!

長久手市にある「小牧・長久手の戦い」ゆかりの場所



しょうきうづか 勝入塚
秀吉方の武将池田勝入が戦死したとされる場所。



しょうきうづか 庄九郎塚
秀吉方の武将池田庄九郎元助が戦死したとされる場所。



みかさやま 御旗山
家康が色金山の軍議の後に金扇の馬標を立てたとされる山。



むさしづか 武蔵塚
秀吉方の武将森武蔵守長可が戦死したとされる場所。



くびづか 首塚
戦いのあと安昌寺の雲山和尚が敵味方を問わず亡くなった将兵の遺体を集めて、手厚く葬った跡。



しょうきいし 床机石
色金山の山頂にある、家康が軍議の際に腰掛けたとされる石。

知ってる?

小牧・長久手の戦い同盟

小牧・長久手の戦いにゆかりのある自治体同士で連携強化を図り、戦いの知見を深め、情報共有・情報発信などを促進するため、2021年11月に小牧市、長久手市、日進市、春日井市、犬山市が同盟を結成しました。

その後、2022年1月に尾張旭市、瀬戸市、岐阜県可児市の3市が加盟し、さらに2023年6月には東郷町、江南市が追加加盟して現在10市町におよぶ大きな同盟となりました。



「小牧・長久手の戦い」



©てづかともこ

小牧・長久手の戦いって
すごかったんだあ。
どうやってら
もっとたくさんの人に
この魅力が伝わるんだろう?

インタビューしてきました!



長久手市郷土史研究会
会長 北山清昭さん

長久手古戦場は、徳川家康・織田信雄と羽柴秀吉が激しい戦いを繰り広げた「小牧・長久手の戦い」の主戦場です。小牧・長久手の戦いの重要性は、家康と秀吉の唯一の正面对決であること、江戸幕府成立に影響を与えたことなど多岐にわたります。長久手市郷土史研究会では長久手市から史跡ガイドを委託され、史跡の重要性をお伝えしています。ガイドを通じて史跡に関心を持っていただければと思います。

驚き発見! 勝入塚、庄九郎塚、武蔵塚には、1771年に尾張藩士の人見弥右衛門と赤林孫七郎が古戦場見学後、武将の戦死した場所が分からなくなってしまうのを嘆いて建てた石碑があります。(人見弥右衛門の子孫が長久手市郷土史研究会で活躍されています。)

長久手古戦場宵まつり

時 8月20日(日) 17:30~21:00 場 古戦場公園

内 キッチンカーなど飲食物販売、吹奏楽の演奏、大河ドラマ「どうする家康」パブリックビューイング(20:00~)および番組制作関係者によるアフタートーク(20:45~)等



令和5年度長久手市郷土資料室特別展「小牧・長久手の戦いと徳川四天王」開催!

長久手の戦いで活躍した徳川四天王に関する特別展を開催します。詳細は市HPへ。

時 8月22日(火)~10月15日(日) 9:00~17:00 場 長久手市郷土資料室

